



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取県国際交流財団

とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鳥取国際通讯

No. 124

Dec. 2017



写真 平成29年度「ジャマイカを知る会」(10/29)
2017 Jamaica-wo-Shiru Kai (10/29)
平成29年度「认识牙买加之会」(10/29)

目次 Contents 目录

TPIEFだより 02-03

- ・通訳ボランティアスキルアップ講座 (東部会場)
- ・日本語ボランティア研修会
- ・子どものための異文化理解体験講座
- ・鳥取県・バーモント州青少年交流事業

特集

「ジャマイカのこと、もっと知りたい!!」 04-05

海外レポート

- ・モロッコより
“アッサラームアライコム”

財団事務所から こんにちは!

- ・第3回目 米子事務所

JICAデスクより

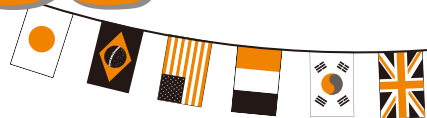
06 英語版・中国語版ダイジェスト 08-09

- Information in English and Chinese 英文版・中文版文摘
- ・TPIEF Bulletin (events report) ・TPIEF情報
- ・Greetings from Your TPIEF Office: Part3 : Yonago Office ・財団事務所の问候! 第三回 米子事務所

財団職員の来て見てモンゴル! 10

ワールドレシピ 10

- ・シャルティバルシチャイ(ビーツの冷製スープ) (リトアニア)



通訳ボランティア スキルアップ講座を開催します!

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、2018年には鳥取県内で大規模な国際スポーツ大会が開催されます。そこで、来県する外国人選手等への受入支援やおもてなしを行うための通訳ボランティア(英語)のスキルアップを図る講座を実施します。



<東部会場>

日にち: ①2018年1月7日(日) ②1月21日(日) ③1月28日(日) ※3回連続講座

時間: 10:00~17:00 会場: 鳥取市高齢者福祉センター(鳥取市富安2丁目104-1)

内容: 通訳としての心構え・マナー/国際大会と通訳ボランティア/外国文化への理解(異文化コミュニケーション)/外国語で学ぶ日本文化/鳥取県の魅力を伝えるおもてなし/競技の基礎知識(ルール・用語等)/英語によるロールプレイ

11~12月に中部会場での講座はすでに終了しました。東部会場で定員に余裕のある場合のみ申込みを受け付けておりますので、ご興味のある方は最寄りの財団事務所にお問い合わせください。なお、本講座は来年度以降も開催を予定しております。

■今後、鳥取県内で行われる国際スポーツ大会の日程(予定)

開催時期	大会名	開催地
2018年10月	ワールドカデットチャレンジ大会(卓球)	鳥取市
2018年11月	クライミングアジア選手権2018大会(スポーツクライミング)	倉吉市
2019年7月	レーザー級世界選手権大会(セーリング)	境港市
2020年7月	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ(競技未定)	未定
2021年5月15日~30日	関西ワールドマスターズゲームズ2021(アーチェリー、柔道、自転車、グランドゴルフ)	各地域



平成29年度日本語ボランティア研修会

今年度は、東中部で講師に柴原 智代氏(国際交流基金 日本語国際センター)、西部では岩田 和美氏(島根県JICAデスク国際協力推進員)をお迎えしてそれぞれの地域に合ったクラス活動に役立つ研修会を開催しました。



▲柴原 智代氏



▲岩田 和美氏

東部

8月27日(日)「日本語を学ぶ上での困難とその学習法」

会場: とりぎん文化会館



東部の日本語クラスは、習熟度別に7つのクラスで小学生から成人まで様々な学習者が日本語を学んでいます。研修会では、①国際結婚の配偶者、②外国にルーツを持つ子ども、③会社員、技能実習生、留学生等の成人、それぞれの対象者の言語環境や背景、日本語を勉強する動機、指導のポイント、お薦め教材とその活用方法等についてご教授いた

きました。クラスという限られた時間での有効的な教え方として、学習者の目的や立場を理解すること、日本語を使う場面や状況を想定して教えること、「聞く」教材で言葉や会話を広げること、クラス外でも自分で学習できるよう指導すること等、参加者にとって具体的に即実践できる、多くのことを学んだ研修会でした。

中部

8月26日(土)「まるごと日本のことばと文化」

会場: 伯耆しあわせの郷

中部の日本語クラスは、柴原講師が編集に関わられた『まるごと日本のことばと文化』を使っているため、このテキストの使い方を中心に教えていただきました。受講者の中で、このテキストを初めて見た方からは「写真が多くて使いやすい」、「興味はあっても何も分からないので、不安しかなか

たが、一步ふみ出してやってみようという気持ちになった。」といった感想がありました。

研修会后、受講者の中には中部の日本語クラスにボランティア参加や、1対1の日本語学習ボランティアを始めるなど、次の行動へ移された方がいらっしゃいました。

西部

8月6日(日)「ボランティア教室での活動を考えよう」

会場:米子コンベンションセンター

西部の日本語クラスは、今年度からボランティアと小グループで漢字を学んだり、おしゃべりを通してスムーズなコミュニケーションを目指すクラスを設けています。

今回の研修会は第1期のクラス活動が終わった時期となったことから、クラスで活動中のボランティアの方々が参加していただき、「楽しかったこと・嬉しかったこと・困ったこと・悩んでいること」を振り返りました。また、日本語クラスについて「互いの文化について知ることができる」という楽しみや、「グループ内で学習者のレベルに差があると戸惑う」

「本当に理解してくれたか不安」といった意見も出ました。岩田講師は、「ボランティアが一方向的に説明するのではなく、グループ内で日本語レベルの高い学習者に説明してもらい、学習者の発話を促し、覚えてほしい語彙を用いて文章を作ってもらうことで理解しているか判断できる」といったアドバイスをしてくださいました。参加者にとっては、専門知識がなくてもサポートできると、今後の活動へ向けた自信に繋がる研修会となりました。

開催

今年度は31校に派遣中です! //

子どものための異文化理解体験講座開催中!

県内の小学校へ外国出身講師を派遣し、子どもたちの異文化理解を深める講座は今年も大人気です。

9月~12月にかけて、募集定数(28校)を上回る31校へ出かけています。

この講座を開催することにより、子どもたちが外国への興味や世界で起こっている出来事への関心、視野を広げるだけでなく、自分たちが住んでいる日本という国についても改めて見直すきっかけとなると、毎回ご好評いただいています。

【講座の一部をご紹介します】



ドイツはどこにある?



ベトナムの絵葉書はきれいです!

講座の後は『遊び』の体験もします! どちらもパラグアイの遊びです。



◀ コーヒー豆を入れる袋を使った『袋競走』



▲ 『バナナ運び』

まだこの講座を活用されていない小学校は、ぜひ来年度子どもたちの異文化理解にお役立てください。来年度の募集は6月頃に各学校へご案内する予定です。

平成29年度 鳥取県・バーモント州青少年交流事業

今年度は10月27日~11月7日の日程で、バーモント州へ高校生15名を派遣しました。現地高校生の家庭にホームステイし、高校の授業と一緒に受けたり、環境について研修したりしながら交流を深めました。

今回はフィル・スコットバーモント州知事の表敬訪問が実現し、とても気さくに対応していただき、感激しました。また州議会の仕組みも議員から説明いただきました。

参加した生徒たちからは、「今回の経験は私の宝物になりました。」「英語が話せなくても友達を作ることができるのだと知った。」「日本とアメリカの高校が違いすぎていて、これも文化の違いなのだなと感じた。」などの感想が聞かれました。

この事業は相互交流事業で、来年4月には今回の渡航でお世話になったバーモント州の高校生を鳥取県に迎えます。来年度で10年目を迎えるこの交流事業を、引き続きご注目ください!



▲ バーモント州知事を表敬訪問



▲ 交流先高校で鳥取県を紹介!

ジャマイカのこと、もっと知りたい!!



鳥取県とジャマイカ・ウェストモアランド県との交流経緯

鳥取県は、2007年及び2015年にジャマイカ陸上チームのキャンプを受け入れたことをきっかけとして、2016年3月24日、鳥取県知事公邸において姉妹提携を締結しました。日本とカリブ共同体諸国間の地方交流としては初めてとなる歴史的な姉妹提携であり、文化・スポーツ・青少年・観光及び経済など幅広い分野において、マラソンや技術（農業）といったそれぞれに特色を活かした交流を行っています。

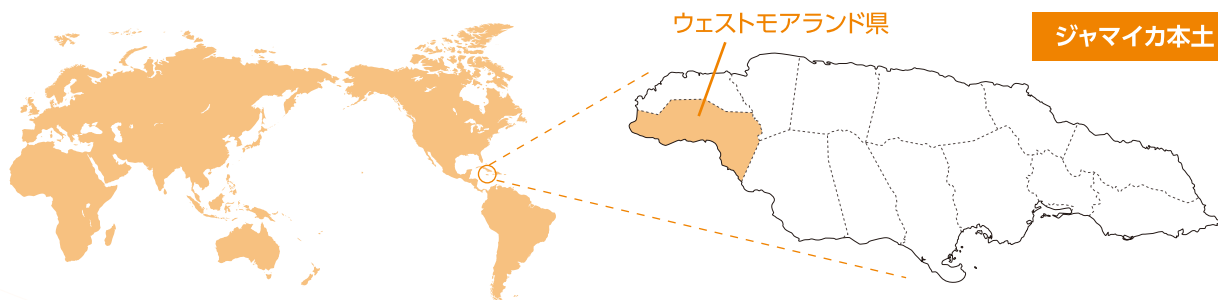
Q ジャマイカってどんなところ?

A ジャマイカは、カリブ海の北西部に位置する大アンティル諸島の4島の1つであり、国土面積は10,990平方キロメートル（秋田県とほぼ同じ）、亜熱帯気候に属します。人口は約270万人。気温は年間を通して25℃から35℃程度で、5月から10月が雨季にあたります。

Q ウェストモアランド県ってどんなところ?

A 【面積】807平方キロメートル（鳥取市よりもやや小さい） 【人口】約144,103人（2011年国勢調査） 【県都】サバンナ・ラ・マール（サブラマ）

【地勢】海や川、山や丘陵に恵まれ、肥沃な沼地も存在。動植物の多様性で知られています。ネグリルのビーチと夕陽の眺めは、様々な世界的雑誌でトップ10の観光地に選定されていて観光業がとても盛んです。ネグリルはビーチリゾートとして有名で、高級リゾートホテルが建ち並んでいるほか、毎年12月の市民マラソン「世界一楽しいレゲエマラソン」が大変有名です。



鳥取県とジャマイカとの主な交流事業

スポーツ交流

11月8日、鳥取県は2020年東京オリンピック・パラリンピックに出場する全ての競技のジャマイカ代表選手団が鳥取県で事前キャンプを行うことで、ジャマイカオリンピック協会、ジャマイカパラリンピック協会等と包括協定を締結しました。2007年、2015年の世界陸上での事前キャンプに続き、3度目のキャンプ受け入れとなる2020年は、ジャマイカが誇るトップアスリートが鳥取県に集結します!公開練習や競技セミナー、県民の皆様との交流も予定していますので、どうぞお楽しみに!



▲協定締結式

■ 青少年交流

2017年10月8日から10月19日まで、国際的視野を持った青少年の育成を図るため、県内の高校生をジャマイカ・ウェストモランド県へ派遣し、現地の高校生や地域住民の方々と交流を行いました。

主な交流内容は、学校訪問、書道パフォーマンスの披露、鳥取県の紹介、ホームステイなどです。

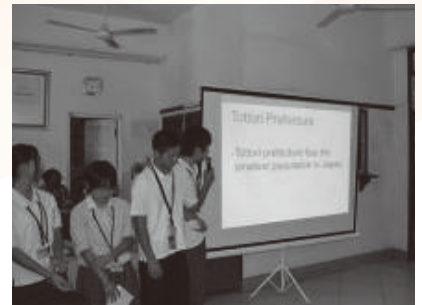
派遣者の声をご紹介します!

暑いとにかく暑い!!でも楽しかった!!うまいかないことの方が多いで大変だったけれど、その分もらったものが多くありました。

ジャマイカの高校生はとてもフレンドリーですぐに仲良くなることができました。この交流をもとに鳥取

とジャマイカがもつと良好な関係を築き、この交流も継続してほしい。

ジャマイカの交流を通して積極的になれた。ジャマイカに行くまで自信が無く、ごまかしたり人に任せたりしていたが、ジャマイカでは自分の意思をはっきり出さなければならない時が多く、積極的に自分の思いを伝えたり何かしたりすることが増えた。



▲鳥取県をプレゼンする生徒たち



▲派遣生徒とジャマイカの高校生との書道合作「将来の夢」

財団の事業開催報告

ジャマイカ交流紹介推進事業

「ジャマイカを知る会」を開催しました!

2017年10月29日(日) 会場:鳥取県立福祉人材研修センター

ジャマイカの魅力を教えてくれたゲストの皆さん!



アンドレ ブラフさん
(県立鳥取工業高校ALT)



エンジェルス ジャームズさん
(鳥取市立西中学校ALT)



ラニークトーマスさん
(県立米子高校ALT)



ジョディアン ムンローさん
(鳥取県自治体職員協力交流研修員)

当日は、1部、2部に分けて料理教室やものづくり、ゲームを楽しみました。

第1部は「食からジャマイカを知ろう!」と題し、ジャマイカの定番料理(ジャックポークやライス&ピース、アキー&ソルトフィッシュ、カレーチキン)をゲスト4人に教わりながら作りました。ジャマイカ料理というと、先祖の地であるアフリカに影響を受けたものや、かつて植民地支配されたスペインやイギリスの料理がジャマイカ風にアレンジされたものなど多種多様なものが特徴的です。また香辛料をたくさん使った料理が多いことや、肉を予め香辛料に付け込んで柔



▲料理教室の様子

かくするといった秘訣もあり、今回の料理づくりを通してジャマイカに根付く食文化の知恵を実感することができました。

第2部は、料理を試食後、ジャマイカの気候や首都の名前、通貨、人気のあるスポーツ、代表的な食べ物などに関するO×クイズに挑戦しました。「ジャマイカものづくり・ゲーム」では、国旗にある3色カラーのビーズや毛糸を使ってプレスレットとヘアバンドを作り、ジャマイカの子どもに人気の「リングスゲーム」も楽しみました。また、最後は、ジャマイカ発祥のレゲエ曲「One Love」を皆で歌ったり踊ったりして大いに盛り上がりました。



▲アクセサリーづくり